

小松の



町花：山百合

# 議会だより

12月定例会 No.122  
平成25年1月21日

道路等補修に1億円 .....	2
町政上の重要案件を協議（全員協議会）.....	5
一般質問 予算編成方針など 8議員が12問 .....	6



伝統を引き継ぐ小正月の団子挿し

(H25.1.14 上松川地区公民館)

# の補修に1億円 大型補正 ～



熱心に聞き入る多くの傍聴者

12月定例会は、12月14日から20日まで、7日間の会期で開催されました。復興産業集積区域税免除条例のほか、職員給与条例の改正、過疎計画・辺地計画の変更など13の議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には8人の議員が予算編成方針、放射能汚染への対応、若者の定住促進など12問に論戦を展開しました。

## 議案審議

### 余剰財源を基金に積立

#### 一般会計補正

1億7677万円が追加され、総額52億168万円となりました。

歳入では普通交付税、

震災復興特別交付税、社会資本整備総合交付金の増が主なものですが、特にこれまになかった町道等の維持管理のための補助金（社会資本整備総合交付金）6500万円は財源確保の努力が評価できる。

また、事業確定に伴い当初みていた財政調整基金7253万円、ふるさと創生事業基金410万円等の繰入を減額するとともに、借入である過疎及び辺地対策事業債も710万円の減額となった。

歳出では、滝ノ平テレビ

共同受信施設組合補助

金2457万円、太陽光

発電システム導入費補助

金140万円、電気牧柵

など有害鳥獣被害防止対

策事業費補助金350万

円、イノシシの捕獲に対

する狩猟補助金100万

円、道路維持費で1億6

60万円、県指定文化財

である西光寺阿弥陀堂等

の修復に伴う補助金22

4万円等のほか、今後、

事業実施が予定されてい

る町公民館の改修や町民

第一体育館の改築に備え

文教厚生施設等整備基金

に5741万円が積み立

てられます。

# 国の補助金を活用し

# 傷んだ道路等

## ～ 異例の

震災復興地域の企業育成

認定事業者の新增設

に対し課税免除

ふくしま産業復興投資促進特区に該当する企業（町内5社）が新設及び増設した資産（施設・設備等）について、新たに課税されることとなった年度以降5カ年分の固定資産税が免除される。

（全員賛成）

過疎計画の変更は

事業のソフト枠の

拡大により

過疎対策事業債にソフト枠が増えたため、現在町で行っている小学生児童クラブ運営事業（人件費等）を対象とするために、過疎地域自立促進計画を変更した。

（全員賛成）

辺地計画の変更は

滝ノ平に地デジ受信施設を

地上デジタル放送の難視聴地域である松川・滝ノ平地区（受益戸数33戸）に共同受信施設を設置することになり、辺地総合整備計画（松川辺地）の24年度事業に組み入れた。

（全員賛成）

## 補正予算の状況と採決の結果

（1万円未満切り捨て）

会計区分	今回補正した金額	補正後の予算額	採決	
一般会計	1億7,677万円	52億 168万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	4,127万円		6億9,766万円
	簡易水道	△182万円		1億 231万円
	農業集落排水事業	49万円		7,523万円
	林業集落排水事業	46万円		2,714万円
	介護保険	28万円		6億1,975万円
	後期高齢者医療	△50万円		5,654万円

※その他の議案は

○職員の育児休業等に関する条例の変更

非常勤職員を対象としたもので、町では今のところ対象者はいない。

○職員の給与に関する条例の変更

県に準じた通勤手当の上限額の改正で、町では今のところ対象者はいない。

# 質疑

## 過疎計画の変更

**Q** 放課後児童クラブが追加され変更されているが、このことによりどういふことを考えているのか。

**A** 過疎事業のソフト枠の中で放課後児童クラブの person 費等の運営経費が対象とできることになったための変更です。



放課後児童クラブでの子供たち

今後3カ年間農産物の信頼回復等のための事業を展開します。

**Q** 社会資本整備のための補助金があるがその用途は。

**A** 基本的に道路等の維持工事ということで舗装の打ち替えを予定し、来年度までの継続事業となります。

**Q** 線量低減化活動支援補助が減額となっているが、要因は。

**A** 各行政区で取り組んだ低減化事業の総枠が確定したための減額です。

**Q** 有害鳥獣被害防止対策の具体的内容は。

**A** 被害防止対策事業350万円は、電気牧柵への補助ですが、被害が増えており、補助希望者が多いことによる補正です。狩猟事業も1頭2万円の補助ですが捕獲頭数が多いため100万円の増額をするものです。

**A** 風評被害対策のため、に基金積み立てを行い、

## 一般会計補正

**Q** ブランド・イメージ回復支援金4316万円の使用は。

**A** 歳入の普通交付税が当初見込みより9912万円ほど増え、更には町単独事業としていた除染関係のものが、震災復興特別交付税の対象となつたことから、合わせた1億3000万円弱が財源として浮きました。このため、当初予算の中で財政調整基金から7000万円の取り崩しを見ておりましたがこれを止め、更には残りを文教厚生基金に積み立てることにしました。



鳥獣被害防止のための電気牧柵

**Q** 文教厚生施設等整備基金への積立で5741万円があるが主な要因は。

**A** 歳入の普通交付税が当初見込みより9912万円ほど増え、更には町単独事業としていた除染関係のものが、震災復興特別交付税の対象となつたことから、合わせた1億3000万円弱が財源として浮きました。このため、当初予算の中で財政調整基金から7000万円の取り崩しを見ておりましたがこれを止め、更には残りを文教厚生基金に積み立てることにしました。

## みなさんからの

### 請願

◎「2013年度教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出」の請願

「提出者 福島県教職員組合石川支部長 星 恵子」  
「紹介議員 高木節男」

### 審議の結果

採択

(全員賛成)

《請願・陳情の手続き》  
町政に対する要望などを請願書・陳情書として町議会に提出することができます。

請願は一人以上の議員の紹介が必要ですが、陳情はいりません。

請願書・陳情書は日本語を用い、趣旨、提出年月日、提出者の住所氏名等を記載し押印して議長宛てに提出してください。

## 議員発議

### 国に意見書の提出

発議者 佐川勇司  
賛成者 佐藤弘信

ほか4人  
福島県は、東日本震災及び原発事故により、多くの子どもがふるさとを離れ避難生活を送っています。

臨時的に再開している学校も多く、教育環境、教育条件は極めて厳しい状況下で教育活動が行われています。



子どもたちにより良い教育環境を



子どもたちはいかなる状況下においても、教育の機会均等のもとに、一定水準の教育を受けることができることから、教育予算の拡充と教職員定数の改善を強く要望した意見書を関係大臣宛てに提出しました。

## お詫びと訂正

前121号の「教育委員会委員任命に同意」の中で、「鈴木アイ子氏」となっておりましたが、正しくは「鈴木あい子氏」の誤りでした。  
お詫びして訂正いたします。

# 12 18 常任委員会

総務・産業建設両常任委員会は、旧宮本小学校の跡地を利用して建設される幼保一体化施設の敷地を調査し、計画の概要について説明を受けた。その後は、関係所掌事業の中で課題となっている諸事業を調査し意見を交換した。

## 総務 常任委員会

○現地調査  
大規模改修が予定されている町公民館と隣接の郷土文化保存伝習施設（ふるさとセンター）の施設状況を調査し、利用状況等について説明を受けた。

○請願の審議  
付託された請願1件を審議した。



工事現場を調査（産業建設常任委員会）

# 12 14 全員協議会

地方自治法と議会会議規則が平成20年に改正され全員協議会は正規の議会活動として位置づけられました。

今回は、12月14日に町長の要請で開催された全員協議会で説明を受けた内容の一部をお知らせします。

## 協議事項 ① 町公民館 改修について

建築後30年を経過した町公民館は、より使いやすい施設とするために、平成22年度に調査設計、そして今年度実施設計を委託し進めております。このたび受託した業者より躯体に構造上の検証が必要であるという指摘を受け現在検証のための準備をしているということです。



改修される町公民館

Q 建築時の確認申請時はOKであった何の問題なのか。

A 耐震基準が改正されたのが昭和56年で、この建物ができたのは昭和57年ですから、今現在適用されている耐震基準に適合した構造物にはなっています。ただ、耐震基準を判定するには幾つかの構造パターンが決まっています、町公民館の構造はこれにない特殊なもの（通常は梁と屋根が繋がっているが、町公民館は間にパラペットというのが接続されている）ということです。

○具体的には  
現在の町公民館の躯体構造が現在の耐震診断の基本構造にないものになっているため、改修により強度等に変化が生じないか検討するというものです。

Q このたびの大震災の後チェックを行ったのか。

A 目視した結果、具体的に被害はありませんでした。



町公民館の高齢者学級



町公民館の親子料理教室

○町の判断は  
改修工事をしようとする時に、少しの不安もあってはならない。これを解消するためにしっかりと確認するよう業者に依頼したとのこと。従って、町公民館の改修はこの判断を待って進めるが結論が出た時点で再度協議します。

## 産業建設 常任委員会

○現地調査  
定期監査で課題として取り上げられた道路改良工事田中田湯ノ口線を調査し説明を受けた。



建設地で幼保一体化施設の概要調査（合同調査）



町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたず

# 一般質問

一般質問は、12月19日に8人の議員が12問の質問を行いました。質疑応答の一部を要約してお伝えします。(順不同)



閉鎖された町内の工場跡

景気低迷が続く雇用の問題が深刻化する中で、町の食品会社が閉鎖され、近隣自治体の複数の会社

## Q 雇用対策をどうするか



せきね すみお 議員  
関根 角男

が閉鎖予定と聞く、こうした場合500人程度の失業者が発生する見込みである。

町としても、一般社団法人の設立やシルバー人材センターの利用拡大など、少しでも働く場所の

確保と勤労者所得の増に努めるべきと思うが、町長の所見を伺う。



町内の環境美化等に貢献 (緊急雇用創出事業)

## A 当面は緊急雇用創出事業を活用

町長

ご指摘のように、管内の企業2社が今年度閉鎖を予定していることは、町村会でも話題となっており、石川地方の雇用の場の縮小は、大きな問題と認識しています。しかしながら現在の経済・雇用状況が早急に改善する見通しが見えてない中では、当面の対策として国の緊急雇用創出事業等をご活用していくことを考えてます。また、古殿町シルバー人材センターの利用につきましては、緊急雇用創出事業と合せて通年での利用及び、今回の米の全袋検査作業をお願いしておりますが、今後も利用可能な作業については、優先的にお願いしていく考えです。



さ が わ ゆ う じ 議員  
佐川 勇司

**Q** 水道事故の再発防止に努めよ

飲料水は生命にもつな  
がる重要な資源です。そ  
れだけに、安全安心に利  
用できる管理が必要です。  
11月8日に発生した水道  
事故について、伺います。  
**第1点** どんな事故か。  
**第2点** 要因とその対応  
は。  
**第3点** 利用者からの苦  
情はあるか。  
**第4点** それに対する補  
償など含めた対応は。  
**第5点** 今後の再発防止  
対策は。

沢浄水場貯水タンク



**A** 目視点検を含め  
管理体制の強化を図る

町長

- 1点目** 取水設備に支障  
が生じ浄水量が低下し、  
水位がゼロになり沈殿物  
が流出したものです。
- 2点目** 異常事態に備え  
た管理システムの不具合  
が要因で、施設の総点検  
を実施し機器の正常な作  
動を確認した所です。
- 3点目** 町民の方から、  
28件の問い合わせと食品
- 4点目** 町が加入する損  
害補償保険会社を通じて  
話し合いをしています。
- 5点目** 監視機器の不具  
合が要因なため、今後は、  
目視点検等を強化し、管  
理します。

**A** 公民館機能を充実させる  
改修をめざす

教育長

- 1点目** 改修に伴い、軀  
体の検証が指摘され進捗  
に影響しますが、機能充  
実を目指した改修を予定  
しています。
- 2点目** インターネット  
の図書検索システムを、
- 3点目** 公民館の役割と  
しての交流機能を充実し  
ます。
- 4点目** そのように計画  
してきます。

**Q** 交流人口増加に  
対応出来る施設改修を

- 交流人口の増加をめざ  
し若者世代の環境づくり  
として気軽に利用できる  
公民館改修が望まれます。  
本年度計画設計の予算措  
置もあるので伺います。  
**第1点** 改修計画の進捗  
状況と計画内容は。
- 第2点** 読書、研究等の  
提供、インターネット等  
の配備は。
- 第3点** 交流機能と宿泊
- 可能な施設整備は。
- 第4点** 平成25年度に改  
修着手か。



機能充実をめざす公民館



さとう ひろぶ 議員  
佐藤 弘信

**Q** 人口減少に対応した住宅対策を急げ

町の人口減少は著しくこの傾向は今後も続くこと危惧されています。出生率の低下、雇用の場を求めた町外への流出等様々な要因が考えられますが、現在のデフレ状況においての経済活動の停滞により、企業の前向きな投資が望めないのが現状です。

第1点 現在の町営住宅

少しでも人口減少に歯止めをかけるために、過疎対策の一環として、子育て支援と合わせた住宅政策は重要な課題でありますので、若者の定住対策について伺います。



建て替えが計画される西渡団地

第2点 町民のニーズに対応する為に、老朽化住宅の計画的な建て替え、

第3点 町内に住みたいが住宅がなければ町内に転出してしまふ。この思いに町としては答えてやるべきと思うが。

第4点 町内外から定住促進の為に、新築あるいは賃貸契約で住宅を取得した場合に、奨励金交付事業の取り組みはどう考えるか。

第5点 町有地を低額で貸し付け、新築して20年程度居住してもらえればその後土地を無償譲渡するような大胆な発想はどうか。

第6点 町内から定住促進のため、町内で雇用の場を提供した企業に対する助成金交付事業をどう考えるか。

第7点 定住対策と子育て支援が充実されれば、若者が定着出来る環境が整うと思う。今後の子育て支援・定住対策にどのような構想を持っているか。

**A** 定住対策を検討推進していく

町長

1点目 町営住宅ストック活用計画では、26年度の需要量は87戸と算定されており、現在85戸であることから、計画に基づく戸数が整備されている。

2点目 愛宕団地のほか西渡団地、横小路団地が建て替え予定、その他4団地は、屋根等の修繕計画となっております。

3点目 来年度に予定している町営住宅ストック活用計画の変更計画策定の中で多様なニーズに対応してまいります。

4点目 町産材を利用し

5点目 公共施設整備を進める中で、未利用町有地の有効活用について総合的に検討してまいります。

6点目 企業立地促進条例において、雇用促進助成金を交付してまいりますので、引き続き対応していきたいと考えております。

7点目 子育て支援の観点から、保育料の二入目

8点目 町のホームページで周知しているが、子育て支援定住政策を周知しておりませんので、まとめてわかりやすく広報紙、ホームページで周知してまいります。



有効活用が望まれる団地跡地





零細な和牛繁殖経営

**Q** 和牛繁殖農家への支援は

町の和牛繁殖農家は119戸あり、479頭が飼育されています。1〜2頭飼いが全体の約6割と野草、土手草などを利用した零細な経営となっています。24年度の子牛販売金額も1億6000



すずき いちろう 鈴木 一郎 議員



3月末で閉鎖される石川家畜市場

万円ほどが見込まれ、農林業が柱の、町の基幹作目の一つであります。放射能の汚染により町内全域の牧草、土手草などが給与自粛となり、代替飼料として畜産組合では、外国産の乾草を配給してきましたが、12月いっぱい給与分で終了されるそうです。来年4月1日より畜産組合は、JAの方に移管ということで1月から3月までの3ヶ月間は自己責任で購入してほしいと言われておりま

す。

畜産農家にとりましては大変な負担になります。そこで、次の点について伺います。

**第1点** 町として畜産組合の移管をどう捉えるか。

**第2点** 移管されるまでの代替飼料の購入費用について飼養者負担となる

が支援策はないか。

**第3点** 移管後は本宮市場での取引となるが輸送やヘルパー経費に負担が生じるが支援策はないか。

が支援策はないか。

**A** まだ具体的説明がない

町長

**1点目** 石川地方の畜産振興を担ってきました石川郡畜産農業組合の業務が移管された石川家畜市場が閉鎖されることは和牛繁殖経営者の意欲減退にさらに拍車がかかるのではと危惧しているところであります。

**2・3点目** 石川郡畜産農業組合からは具体的な説明は受けておりません。現在、あぶくま石川農業協同組合と同組合で組織事業統合推進協議会を立ち上げ、諸問題について協議を進めていると聞いております。



改良しないと給餌できない草地



さとう かつお 議員  
佐藤 一夫

**Q** 石川家畜市場閉鎖による影響は

畜産は、わが町の農業経済の柱の一つでもあります。農業従事者の高齢化、農家数の減少などの傾向にあった中、昨年の原発事故により、牛肉価格の暴落、子牛市場価格低迷、さらに放射能の影響で粗飼料の多くを占める野草、土手草が給飼できず、生産意欲が減退しています。

繁殖農家は、経済効果

生きがい対策、環境保全といった多面的役割も担っており、不安解消は急務です。現実的対応と畜産振興について伺います。

**第1点** 市場閉鎖による影響と対策は。

**第2点** 代替粗飼料賠償が進まない場合の対応。

**第3点** 野草、土手草等が自給できる見通しは。

**第4点** 畜産振興対策は。

**A** 和牛繁殖経営の意欲減退を危惧

町長

**1点目** 各町村で座談会が開催され、業務の移管、本宮市場へ出荷の方向で進めるとの説明があった

と聞いています。市場閉鎖は、農家の意欲をさらに減退させるのではと危惧しています。

**2点目** 石川市場とJAで、組織、事業統合推進協議会を立ち上げ協議していると聞いています。

**3点目** 何度も県に確認していますが、具体的な回答は得られず、見通しがたない状況です。

**4点目** 今後の動向を見据えながら検討しています。



子牛セリも福島県家畜市場（本宮市）に

**Q** 大型プロジェクトの進め方は

本年度、幼保一体化施設の建設に着手、今後公民館の改装・増設工事、さらに、総合体育館建て替えなどが計画されているところですが、平成25年度の重点事業を中心に、次の点を伺います。

**第1点** 平成25年度主要事業の特徴は。

**第2点** 総合体育館の建設事業を進めるうえで検討委員会を設置されたがその目的と、答申に対する扱いは。

**A** 検討委員会は建て替えを前提

町長

**1点目** 衆議院解散総選挙に伴い、予算編成作業が停滞し、交付金も確定していませんが、これまでに主要施策として取り組んできた子育て支援、森林・林業の活性化などを主体とし、さらに、除染対策、社会資本整備等を進める考えです。

**2点目** 町民第1体育館の整備にあたり、位置や規模、設備内容等について、利用団体の意見を聴くためであり、検討の結果、建て替えを前提に進めます。



震災で大きな被害を受け建て替えられる町民第1体育館

今回の衆議院議員総選挙において、わが国の政治の歴史的課題や選挙のあり方についての課題などが表面化し、期待感などがどこに求めるのか難しさを感じています。

前は、地域主権改革を1丁目1番地の政策と掲げた民主党に、わが町のような過疎地域の小規模自治体にとっては、その自治体の自主性や自立性が重要視されるより民主的な動きに期待感がありました。

今後は、自治体の存続や役割と責任について、大事な時期ですが、わが町



たかぎ せつお 議員  
高木 節男

Q 新過疎法によるソフト事業の計画は

においても、過疎化が進む転換期の中で、次年度の重点事業や予算編成は町民の多様な声を活かし町民の生活を守る自治体の責務を果たすために重要であることから、次の点について伺います。

**第1点** 本年度の事業の執行状況は。

**第2点** 次年度の重点事業の基本的考えは。

**第3点** 予算規模の総額交付税、町税の見直しは。

**第4点** 町営住宅整備事業の計画は。

**第5点** 新過疎法によるソフト事業の計画は。



ソフト事業の対象となる放課後児童クラブ

A 最大限活用し地域づくりを

町長

**1点目** 主要事業の工事関係15件のうち、11月末時点で、9件を発注しています。残りの工事についても、発注に向け準備を進めています。

**2点目** 子育て支援や森林・林業の活性化などを主体とした予算編成としていく考えです。

**3点目** 各課からの予算見積書の提出期限を、今月末としており、予算規模については確定していません。また、衆議院議員総選挙に伴い、国の予算編成作業が停止しているため、見通せない状況です。自主財源に乏しく歳入の約8割を依存財源

による財政構造であり、国・県の動向を注視しているところではあります。

**4点目** 来年度、町営住宅ストック総合計画の変更計画を策定し、具体的に進めます。

**5点目** 今年度から対象事業の運用が弾力化されたことにより、千年の森育成事業、地方バス路線維持対策事業、放課後児童クラブ運営事業で、4300万円が起債事業となる見込みです。

ソフト事業枠に対する申請が少ないこともあり対象事業も拡大しておりますので、発行限度額を最大限活用し、地域づくりや鳥獣被害対策などへの適用も、検討していく考えです。



有効活用し地域活性化につなげて



おかべ じゅんいち 議員

## Q 町づくりの考え方は

震災からの復興、原発被害の中で、25年度施策実施の考え方と伴う予算措置が講じられると思うが、先を見据えた施策実施が切望されています。次の事柄について伺います。

**第1点** 町振興計画に基づいた町政運営を進めるとしても、町長の任期中と考へての具体的な町づくりの考え方は。  
**第2点** 小学校統合をはじめとして、跡地利用、幼保一体施設、町体育館公民館改修など町に係る箱物建設の一切がここ数年で実施されようとして

いるが、予算措置を第一に考えながら、どう進めようとしているのか。

**第3点** 道路改良を要する新たな箇所として、松川荷市場から西渡、馬場大原への町道路線が大きな方向性を持っていると思いますが、生活道路、農林業、迂回路など多様な観点からして、すぐに取り組むべきと思うが町の考えは。

**第4点** いわき石川線の歩道改良について桑原からの引き続き、才竜内集会所付近の歩道改良が急を要するものと思うが、実施の方向性は出ているのか。

**第5点** 三株下市萱小川線小名沢地内の落石防止工事が実施されていますが、できればその先の一番狭い箇所の改良も望んでいるのが地元住民の声

です。現状での町の取り組みと県の認識は。  
**第6点** 大原小跡地利用委員会の話し合いはどんな形で進められているのか。



万が一の場合、災害対策本部が設置される役場庁舎

## A 安全・安心なまちづくりを

町長

**1点目** 町民の目線に立った町政、対話を大切にしたい、町民主体の町政運営を基本に、安全・安心な町づくりを進めます。  
**2点目** 文教施設の改修に備えた基金は、現在11

億6900万円となっていますが、基金だけに依存するのではなく、今後着手予定の幼保一体化施設を始め各施設とも国・県の補助事業と過疎・辺地債など有利な財源を基

本に計画を進めます。  
**3点目** この区間の道路改良は、中山間地域総合整備基幹農道事業として早期の新規採択を県に要望しています。

**4点目** 県道いわき石川線の道路整備計画については、県復興計画に基づく、基幹的な地域連携道路に位置付けられたことから、今後とも早期の整備促進について、県に要望しています。

**5点目** 落石防止対策の事業要望の際にも、併せて改良要望も行ったところですが、今後も早期の整備促進について、持続的に要望活動を行っていきます。

**6点目** 大原小学校跡地利用検討委員会は、12人の委員で構成し、林業振興、後継者対策など、現状と課題等、今後の方策を含め跡地利用を検討しています。  
これまで4回開催し、年明けには報告が出されます。



利用の検討が進められている大原小学校跡地

## その他の質問

- 震災と原発事故によって町民生活に影響した諸問題
- 開かれた町づくりに伴う情報公開や議会に対する資料提供はどうか



きど ひさやす 議員  
木戸 久康

**Q** 沢浄水場の汚水事故の原因は

11月8日午後、沢浄水場を利用している地域の水道が汚れる事態が発生しました。生活水として

利用している家庭は夕食は作れない、風呂に入れない状態となりました。水を大量に使用する企業やスーパーでは対応に

大変困ったとお聞きをしました。今まで、多額の税金を投入して整備、管理をしている浄水場が、なぜこのような事態になったのか、よく検証しなければなりません。有事災害の際は危機管理はできてい

ると思うが、水の事故の場合も一刻も早い対応が要求されます。しっかりと水源を守ると共に町は水を売っているわけですので安心して町民が利用できるように供給しなければなりません。そこで次の点について伺います。

**第1点** なぜ汚水が流出してしまったのか。その原因を検証したか。

**第2点** 正常になるまでの位の時間を費やし修理はどのようにしたのか。  
**第3点** この件について迷惑をかけた企業等との損害も含めた話し合いはしたのか。



役場庁舎内の水道管理システム

**A** 管理システムに不具合が

町長

**1点目** 施設管理システムに不具合が生じ水道供給量のバランスを損ない貯水タンクが異常に減水して水垢等の沈殿物が流出してしまいました。

また、需要量の多い時間帯であったことから復旧に相当の時間がかかったものであります。

**2点目** 異常を把握し対応したところですが、夜10時頃には安定的に給水できる状態となりました。

しかし食品製造業者で製造可能な水質となったのは、翌日の9日朝であります。修理は、当日現場では保守点検委託業者4人と

職員2人で作業にあたり役場では残りの職員が電話の対応をしたところでです。全ての施設の総点検を15日まで行い、機器の正常な作動、運転を再確認したところです。

**3点目** 食品製造の事業所1社から製品に被害が発生したとの苦情があり作業所で立ち会いのうえ確認し、現在まで計6回ほど話し合いを持っております。現在は、町が加入している損害保険会社の現地調査が済んだことから、事業所から提出していただきました関係書類について、保険会社が査定を行っているところです。



沢浄水場の浄水設備

# 第3回 臨時会

24.11.28

## 衆議院議員選挙の執行経費として

### 581万円の補正

平成24年第3回臨時会は、11月28日に開かれ、放射能に汚染された酪農家の草地を除草するための更新委託料を計上した一般会計第3次補正予算、馬場橋架け替えに伴う下部工事請負契約の締結、衆議院議員選挙に係る執行経費を計上した第4次補正予算の3件の議案を、原案どおり可決しました。

## 議案審議

### ○専決処分承認について

#### 農用地除染のための一般会計補正予算

酪農家を対象として行 専決処分として作業委託うもので、放射能に汚染 料550万円を一般会計された草地の更新作業は に補正したもので、議会緊急を要するため町長の 承認が必要です。

### ○工事請負契約の締結について

#### 契約の目的 道路改良工事 町道馬場集り線 (馬場橋)

- ・契約の方法 一般競争入札
- ・契約金額 5869万5000円
- ・契約の相手方 (株)小浜組 代表 小浜 春男
- ・工 期 平成25年3月29日まで

## 一般会計 第4次補正予算

12月16日投票の第46回

衆議院議員総選挙に係る執行経費として歳入歳出それぞれ581万7000円を追加し予算総額を5億2491万7000円とするものです。

## 質疑

### 第3次補正関係

#### Q 事業対象は。

A 基準として0・23マイクロシーベルト以上のものであり、プラウ30cmの深耕ができるかどうかです。

#### Q 対象面積は。

A 4・56ヘクタールです。

### 第4次補正関係

#### Q 以前と比べると少ない気がするが積算方法は。

A 町の面積と有権者数投票所の数を基本として県で算定したものです。

# 全員協議会

24.11.28

11月28日、町長の依頼に基づき開催された全員協議会の内容の一部をお知らせします。

### 〈報告事項〉

#### ○西光寺阿弥陀堂修繕費助成について

震災により被害を受けた県指定文化財である西光寺阿弥陀堂と阿弥陀如来坐像の修復事業について、県より補助を受け25年度までの2カ年にわたり実施するもので、町でも支援します。

#### ○幼保一体化施設の建設について

実施設計が出来上がり施設の概要が説明された。敷地面積 12726㎡  
・構造 木造鋼板葺平屋建  
・床面積 2108.57㎡  
※床面積は変更される場合もある。

#### ○町民第一体育館の整備について

震災により被害を受けた町民第一体育館の整備について、町民意見の集約のため検討委員会ができましたが、検討の結果新たに建設することで話し合いが進められています。

#### ○小学校スクールバス松森線について

小学校スクールバスは23年度から6コースで運行されていますが、松森地区については今後も一定の児童生徒数が見込まれるため、子どもの安全・安心の確保から保護者との話し合いにより24年度より町が小型バスを運行していましたが、他のスクールバス同様委託先を福島交通となりました。

#### ・米全袋検査について

米の放射線量を測定する全量全袋検査の状況は見込み数量56000袋に対し11月26日現在で43401袋で基準値を超えたものはありません。

#### ・町簡易水道の事故について

11月8日沢浄水場を水源とする簡易水道の水質汚濁事故が発生したことから、一連の経過と対処について報告される。



修復のため梱包される阿弥陀如来坐像

# 追跡レポート

## その後 どうなった？

テーマ

### スクールバス運行に対して安全対策を示せ

Q 平成23年12月一般質問から

積雪時・凍結時のスクールバスの安全運行に対して、どのような対策を講じるのか。

A 町長答弁

積雪に対しては、町建設協力会との協議により、除雪体制を確立しました。町道は路線延長が長く、凍結時には人力で融雪剤を散布していますが、凍結ヶ所も多く、安全を考慮しますと短時間に融雪出来るように、県とも協議しながら中古も含めた融雪剤散布機の導入を検討します。

#### その後の 対応

24年9月に2tダンプに搭載出来る凍結防止剤散布機を2台（新車）購入し、一般車両を含めてスクールバスの安全運行の為、凍結路面の解消に期待されます。

運用

東コース（45.3km）、西コース（43.5km）の2コースを委託業者により、午前5時現在の気温が $-1^{\circ}\text{C}$ 以下になった場合、及び凍結が予想される場合、出動を原則とする。

\* 散布作業中のご協力よろしくお願いします。



稼働中の凍結防止剤散布機（車載型）

# みんなのページ

今回紹介するのは **クラフトハウス・井丸さん夫妻** です。



## ふるどのに移住して

(旧大原保育所)

クラフトハウス・井丸さん夫妻



関東圏から移住された木工作家、井丸さんを紹介します。

### 古殿町に移住して来た思いはなんですか。

私達は平成23年7月末に神奈川県から、この町に移住しました。生の木を主に手道具を使ってイス・テーブル・器などを作るというグリーンウッドワークを福島県古殿町から広めようと思ったからです。古い木工技術で欧米でも、広がってます。窮屈な環境から抜け出し、この町で本格的に活動したいと考えてます。

機械化に頼る環境社会ですが、自然的資源力と手作業を中心としたグリーンウッドワークは、きっと特別な意味を持ち、この町から世界へ発信して行こうと今後も活動して行きます。

### 移住して、古殿町の感想は、どうですか。

この町に移住し、1年近くになりますが夜空、青空の美しさ、そしてヤマメ・イワナなど釣れる川の魅力は、何にもかえがたい宝物だと思います。

### 木工教室のお知らせです。

毎週水・木曜日の夜に町内の人向けにクラフトハウスを解放してます。

グリーンウッドワークを楽しみたい人、ご参加下さい。

お問い合わせは ☎0247-57-5541

#### 家族紹介

井丸富夫(本人)

淳子(妻、国見町出身)・麻頼(息子、助手)

敏(父 91歳現役)



天然くず粉取りの様子



グリーンウッドワークの作品

“町政を知るよい機会”

議会を傍聴してみませんか

次回の  
定例会

3月 中旬